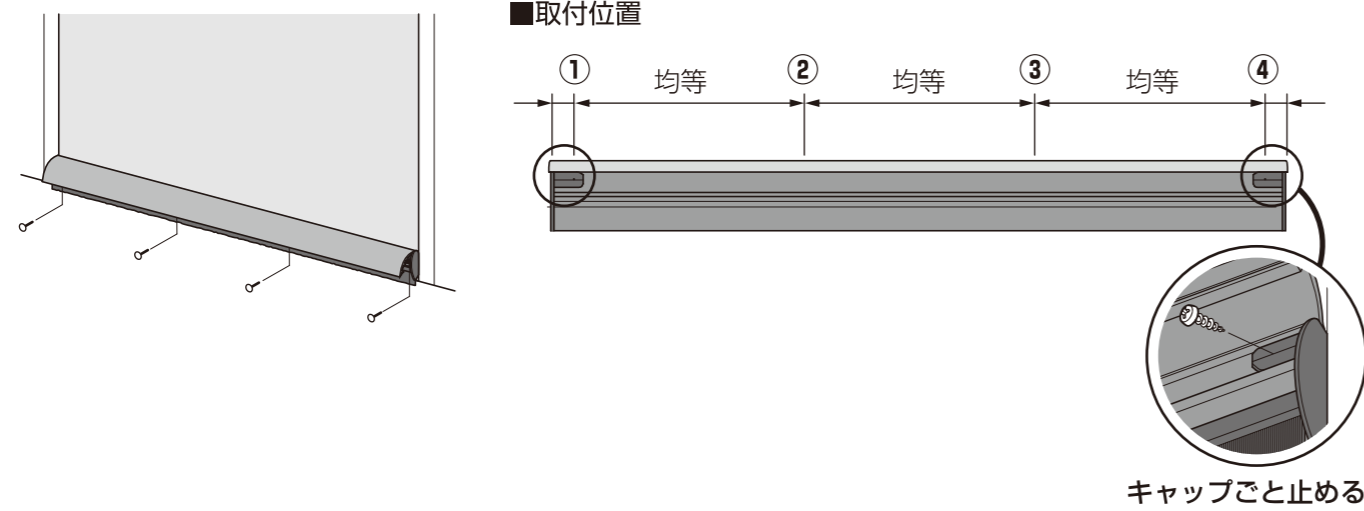


**ねじでドアに固定する場合**  
(両面テープのつかない場合・引き戸の場合)

ねじで4か所固定する。



キャップごと止める

**取り付け後の確認**

- ドアが開閉できるかを確認してください。
- ホルダーにがたつきがないかを確認してください。
- ブラシがホルダーにセットされているかを確認してください。

**日常のメンテナンス・確認事項**

- 周囲温度が適正温度範囲（-10℃～60℃）外の場所では使用しないでください。
- 頭の大きさが毛丈以下のねずみは、侵入するおそれがあります。
- 商品に変形などの不具合がある場合は、すぐに使用をやめて交換してください。
- 両面テープが付いているかを確認し、剥がれている場合はねじ止めしてください。
- ホルダーやブラシが外れていないかを確認してください。  
外れていると、けがをするおそれがあります。
- ブラシに入ったごみは取り除いてください。（目安：1か月に1度）

**施工・取扱説明書**  
**ラットシールド**

品番：23506000(RS-1000-7)  
23506100(RS-1000-12)



このたびは、ラットシールドをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- この商品はドア専用です。他の用途には使用しないでください。
- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全に取り付けてください。特に「安全上のご注意」は、取り付け前に必ずお読みください。
- 取扱説明書に記載されていない方法や、指定の部品を使用しない方法で施工されたことにより事故や損害が生じたときには、当社では責任を負えません。また、その施工が原因で故障が生じた場合は、製品保証の対象外となります。
- 梱包材や残材は、法律に従って適切に処理してください。

**安全上のご注意** 必ずお守りください

◎ 人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。




■ 誤った施工をしたときに生じる危害や損害の程度を説明しています。 ■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

**⚠ 注意** 「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

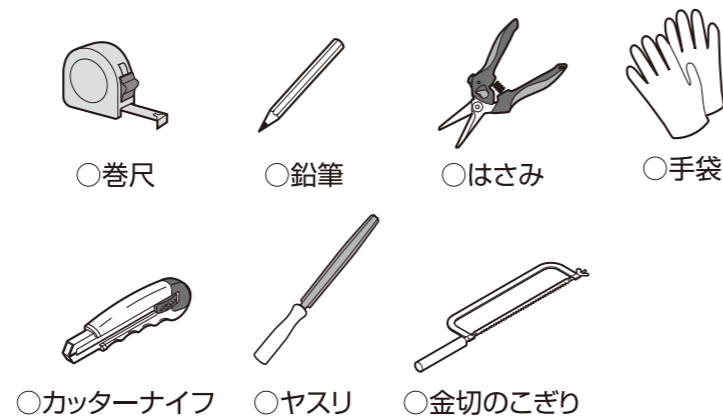
**❗** 実行しなければならない内容です。

| <b>⚠ 注意</b>   |  |
|---|--|
| <p><b>❗ 必ず守る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 作業していることを、周囲にわかるようにする<br/>ドアが急に開き、作業者がけがをするおそれがあります。</li> <li>● 必ず手袋を着用して作業する<br/>ホルダーのエッジなどでけがをするおそれがあります。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 穴あけの際、ドリルの取り扱いに注意する<br/>けがをするおそれがあります。</li> </ul> | <p><b>❗ 必ず守る</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>● ホルダーの表面が滑るため、カットする際は注意する<br/>金切のこぎりで手を切るおそれがあります。</li> <li>● ブラシがしっかりと取り付けられていることを確認する<br/>ブラシが外れて、けがをするおそれがあります。</li> <li>● ホルダーがしっかりと固定されていることを確認する<br/>ホルダーが外れて、けがをするおそれがあります。</li> </ul> |

## 部品・部材

| 部品・部材名 | ラットシールド本体   | キャップ  | 取扱説明書   |
|--------|---|---|---|
| 姿図     |  |  |  |
| 入数     | 1本  | 2個  | 1部  |
| 備考     |   |   |   |

## 使用工具

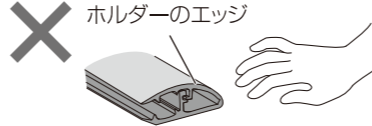


**注意**

必ず手袋を着用して作業する  
ホルダーのエッジなどでけがをする  
おそれがあります。

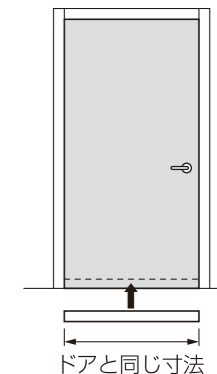
必ず守る

✕ホルダーのエッジ



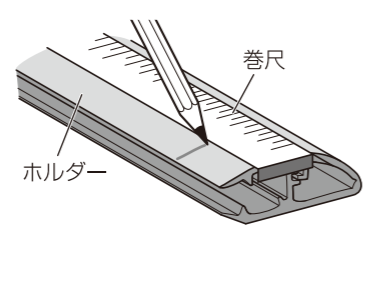
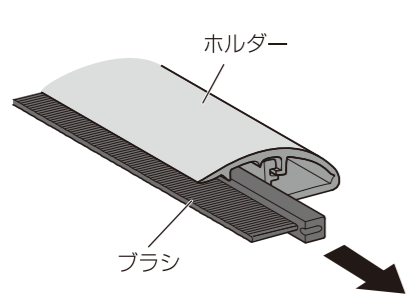
## 取り付け条件

- ドアの幅と同じ寸法にカットして取り付ける。  
ドアの種類によっては、幅と同じ寸法でカットすると、開閉できない場合があります。開閉を確認しながら、現場合わせでカットしてください。
- ねずみが入ってくる側に取り付ける。
- 床面のレベルが出ている。  
レベルが出ていないと、開閉できない場合があります。
- 両面テープが付かない場合や引き戸の場合は、ねじ止めする。

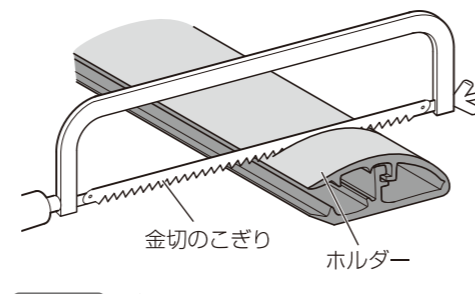


## 取り付け手順

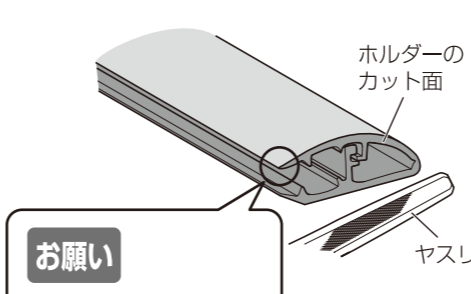
- 1 ブラシの取り外し
- 2 カット寸法の測定
- 3 ホルダーのカット
- 4 カット面のヤスリがけ
- 5 ブラシの取り付け
- 6 ブラシのカット



ドアの寸法にあわせて、ホルダーにカット位置をマーキングする。

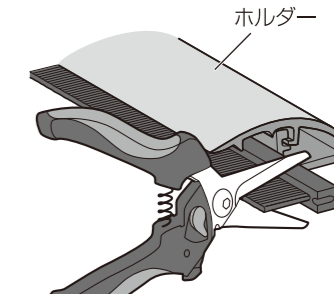
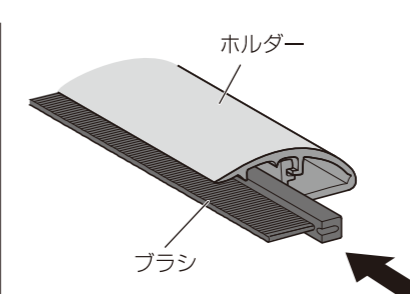


- お願い**
- 滑りやすいので、ゆっくりとカットしてください。  
はやくカットすると滑ってホルダーを傷つけるおそれがあります。
  - 垂直にカットしてください。  
キャップ取り付け時、すき間が生じるおそれがあります。

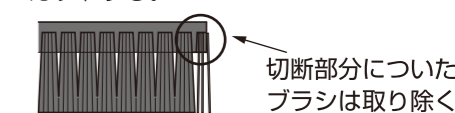


**お願い**  
ステンレスがめくれるので、けがをしないよう注意してください。

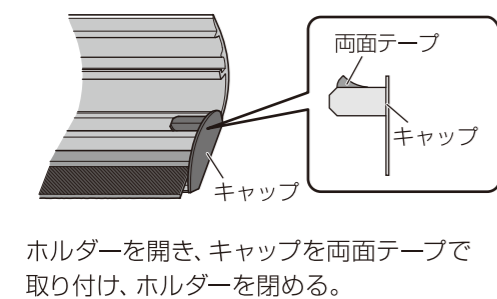
ホルダーのカット面をヤスリがけしてバリを取り除く。



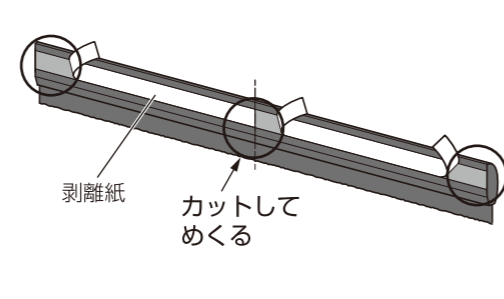
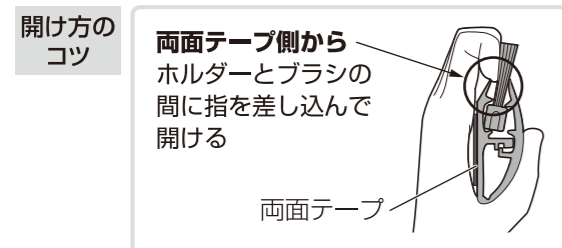
ホルダーの長さに合わせて、ブラシをカットする。



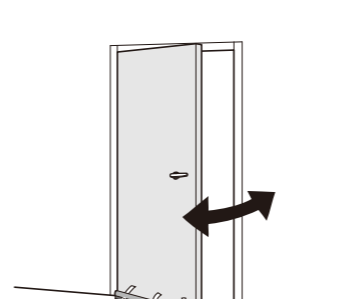
- 7 ブラシとキャップの取り付け
- 8 ドアへの仮止め
- 9 開閉の確認
- 10 ドアへの本固定
- 11 養生シートの取り外し



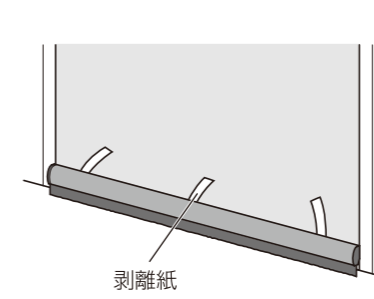
ホルダーを開き、キャップを両面テープで取り付け、ホルダーを閉める。



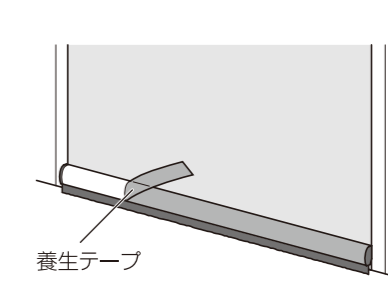
両面テープの剥離紙を1か所カットし、ドアに仮止めする。  
※ドアの油分やほこりなどを取り除いてください。  
※両面テープ貼り直し時にドアの塗装が剥がれるおそれがあります。



ドアを開閉できるか確認する。  
※開閉できない場合は、ホルダーの位置を調整してください。



両面テープの剥離紙を剥がして、ドアに本固定する。



**取り付け完了**

裏面の取り付け後の確認に進んでください。

**両面テープで固定できない場合・引き戸の場合は、裏面の「ねじでドアに固定する場合」に進んでください。**